

## 特殊詐欺の認知状況（令和3年8月末）

### - 多種多様な手口の被害を認知 -

#### 1 県内の特殊詐欺の認知状況（令和3年8月末）

- 被害認知件数は**61件**（前年同期比+42件）
- 被害総額は**約2億1,912万円**（前年同期比+約1億4,368万円）

#### 2 令和3年8月の認知状況

- 被害認知件数は**17件**（前年同月比+15件）
- 被害額は**約4,021万円**（前年同月比+約3,906万円）
- 手口は
  - ・ 架空料金請求詐欺 ～10件
  - ・ 還付金詐欺 ～4件（うち1件は未遂）
  - ・ 融資保証金詐欺 ～1件
  - ・ ギャンブル詐欺 ～1件
  - ・ キャッシュカード詐欺盗 ～1件

#### 3 県内の特殊詐欺の傾向（令和3年8月中）

8月は架空料金請求詐欺をはじめ、様々な手口の被害を17件認知しました。

また、8月末現在の認知状況は上記のとおりであり、これは既に令和2年中の認知状況を大幅に超えています。（令和2年中の認知件数38件、被害総額約1億1,226万円）

特殊詐欺はいつ、誰が被害に遭ってもおかしくない身近な犯罪です。「自分は大丈夫」と考えず、お金の話が出たら詐欺を疑い、必ず家族や警察に相談してください！

#### 4 被害状況など

##### ～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和3年8月末(人)		
	男性	女性	計
0～19	-	1	1
20～29	1	2	3
30～39	-	2	2
40～49	2	1	3
50～59	4	8	12
60～64	6	5	11
65～69	4	16	20
70～79	1	5	6
80～89	1	2	3
90～	-	-	-
合計	19	42	61
うち65歳以上の高齢者	6	23	29

##### ～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和3年8月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	39
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	4
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	-
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	17
キャッシュカード手交型	1
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	-
合計	61